



緑丘トピックス

平成 29 年度
第 5 号

12月22日 (金) 発行



Date Midorigaoka High School 北海道伊達緑丘高等学校 TEL/FAX 0142-24-3021



ことばの力

校長 吉瀬 献策

僕は、ことばに力があるのをしている。高校時代、先輩から、3年生で体育の教員が担任になったら受験が不利だと言われた。概して、文章記述が苦手だから、推薦書や調査書がお粗末だという理由からだ。受験の時、余った緘印の押しあての調査書の封を切った。人物所見欄の広いスペースに「他の模範となる生徒である」の一文のみ。先輩の指摘が現実のものとなったようにおもえた瞬間だった。でも、いまおもえばものは考えよう。三十数年前の教員には権威があったであろうからそれでよし。当時の体育教諭は、ことば少なくして笛ひとつ、棒（そういえば、多くの先生が鞭状にされる棒の類いを持ちあっていた）の一振りやんちゃ坊主たちを右に左に操っていたではないか。頭の中も筋肉と体育教諭を称して揶揄する輩もいたが、彼らのわかりやすい指導法に自分は敬意をはらっていた。

当時、先輩たちや先生の顔色をよく読んだ。これができるできないで学校生活は大きく変わってくる。しごきの部活や個性的な教員集団相手のサバイバル術だ。このことは、閉塞的で権威的な学校現場を懐かしんだり糾弾する話ではない。ことばを発するほうも受け容れる方も、穏やかな心もちで受け入れられた時代の話。

きょうび、入ってくることばが耳障りで不快でならない。マスコミのつかうことば、上からの通知文。過剰な責任と義務の意識から、ことばがぎすぎすとしてツールに成り下がっていたり、それを使う我々自身がさながら拘束衣を着せられた状態になっている感を抱く。過日、実施した、いじめに関するアンケートの変更となった文言。「～なようなことをされて、嫌な思いをしたことがありますか」。過日、発生した重大ないじめ問題に係る学校や教育委員会の不手際を踏まえ、未然防止と早期発見の観点から、よりきめ細かな対応を求めていることで、作成者もよくよく考えてひねりだした表現だろうが、当時の生意気な高校生なら、「いいも嫌だも内心の自由じゃないですか、ナンセンス！」と先生に言い放つかもしれない。

次期学習指導要領でも、「主体的・対話的で深い学び」や「協働学習」、「教科を横断した読解力の向上」が学校の教育活動に大きく位置付けられている。誤解や不快感を相手にあたえない、場をわきまえたデリケートなコミュニケーションの教授に腐心するようになっては本末転倒だ。ことばによる表現で、伝え合うことができお互いが理解し合えるようになるなんてことを振りかざしているような授業は嘘くさい。ことばの限界がある一方、ことばの可能性や力、そして自由であることを先生方には広めていただきたい。

もっともっと、ことばで遊ぼうよ。

生徒会リーダーによるピア・サポート委員会

12月8日(金)に生徒会役員やHR委員長達を対象に行われた今回の第1回目のテーマは「自己理解」。

ほんわか言葉とちくちく言葉をキーワードに言葉の大切さを学び、積極的な話の聴き方をできるようにロールプレイングを行いました。話を聴く側のうなずきや態度、姿勢がコミュニケーションにおいて、重要な役割を担うことを生徒は身をもって知ることができました。



2学年インターンシップ

11月16・17日の2日間、2学年の希望者を対象に「インターンシップ」が実施されました。見学旅行後の忙しい時期にも関わらず、精力的に市役所や図書館、保育所、病院、スーパーなどでそれぞれが職業体験にとりくんできました。実際に仕事をするという難しさ、現場ならではの臨場感を肌で感じ、進路意識向上を促される貴重な経験をすることができました。今年もたくさんの方々の御協力をいただき、生徒達にとって非常に有意義な2日間となりました。ハローワークをはじめとした地域の関係諸機関や受け入れていただいた企業の皆様にこの場を借りて深く御礼申し上げます。本当にありがとうございました。



サッカー部優勝！今年最後を飾った快挙

第29回全道(U-18)フットサル北海道大会兼第5回全日本ユース(U-18)フットサル大会北海道予選室蘭地区予選会が12月4日伊達市総合体育館で行われ、緑丘高校サッカー部が見事優勝という結果を収めました。登別青嶺、海星学院、伊達との総当たり戦を制し、今回で本校は4連覇という快挙を成し遂げました。色々な選手が活躍し、今大会の総得点は13点と、オフェンス力の高さが伊達緑の強み。8月末から9月の頭にかけて行われた選手権大会室蘭地区大会に続き優勝という二文字を勝ち取ったイレブンの今後の活躍はまだまだ続くと期待できそうです。



1年生も大活躍卓球部男子団体優勝・個人優勝！

室蘭市体育館にて行われた10月28日(土)の北海道高等学校選抜卓球大会室蘭支部室蘭ブロック予選会において、1A石野修平君と1B明神怜佑君のペアが男子ダブルスで優勝という快挙を成し遂げました。同じく女子シングルスでは、1C佐藤由麻さんが優勝と1年生ながら堂々の活躍をみせました。



その後11月11日(土)に同団体戦が実施されましたが、そこでも男子団体において、強豪校との激戦を制覇し、優勝を勝ち取りました。もともとポテンシャルはあったものの、最近の練習でぐんぐんと更に力をのばし、才能を開花した選手達。12月15日から小樽で行われた全道大会でも団体戦では3回戦に進出しました。1年生にも有望選手が多数いるということで、今後も期待大な緑丘卓球部です。

ど みどり Midorigaoka よみ撮り緑 2017年11月・12月

◆◆◆◆◆ 11月11日(土) PTA研修旅行



保護者20名、教員4名による研修旅行は、悪天候の中ではありませんでしたが、七飯町函館ワイン葡萄館の見学、函館駅周辺散策を経て、ラピスタ函館での昼食を楽しみました。その後、今回の目玉である新函館北斗～木古内間の北海道新幹線13分間の乗車体験を終え、参加者一同期待以上の盛り上がりを見せました。

◆◆◆◆◆ 11月21日(火) 見学旅行報告会



2年生は見学旅行を終え、各HR単位で総合学習の時間を使い、班別自主研修について自分達が撮ってきた画像を写し、そこに説明を加えるという形で発表しました。生徒達は他の班の生徒の発表を真剣に聞き入っていました。

◆◆◆◆◆ 11月26日(日) 餅つき会ボランティア



南稀府会館で行われた町内餅つき会のお手伝いのボランティアに参加した本校生徒達は、この活動を通して、小学生やご老人とふれあい、交流を深めました。

◆◆◆◆◆ 12月12日(火) 自動車免許取得説明会実施



2会場にて保護者を対象として実施され、60名近くの参加があり、自動車学校への通学条件等の説明がなされました。

◆◆◆◆◆ 12月14日(木) ALT来校



ALTのベンジャミン先生が来校され、2年生で英語の授業を行いました。生徒達は積極的に授業に参加していました。



1月の行事予定表

冬季休業 ⇒ 12月23日(土)～1月15日(月)
センター試験 ⇒ 1月13日(土)～1月14日(日)
学年末考査(3年) ⇒ 1月25日(木)～1月26日(金)

日 曜	行 事 予 定
1 月	元日 年始休業 冬季休業
2 火	年始休業
3 水	年始休業
4 木	
5 金	冬期講習(後期:3年希望者)①
6 土	冬期講習(後期:3年希望者)②
7 日	冬期講習(後期:3年希望者)③
8 月	成人の日、冬期講習(後期:3年希望者)④
9 火	冬期講習(後期:3年希望者)⑤
10 水	冬期講習(後期:3年希望者)⑥
11 木	
12 金	
13 土	大学入試センター試験(1日目)
14 日	大学入試センター試験(2日目)
15 月	センターリサーチ(3年) ↓
16 火	冬季休業明け清掃・LHR、実力考査①
17 水	実力考査②
18 木	
19 金	第3回英語検定
20 土	進研総合学力テスト(1・2年) ※1年は全員模試 第3回高2公務員模試(2年)
21 日	
22 月	
23 火	
24 水	
25 木	学年末(卒業)考査①、職員会議
26 金	学年末(卒業)考査②、進路希望調査(1・2年)
27 土	
28 日	
29 月	
30 火	小論文模試(2年)
31 水	

★諸事情により変更となることもありますので、ご了承がいます。

1年生初の試み 学習発表会開催

12月19日(火)の6、7校時に総合学習の時間を使って1学年が学習発表会を実施しました。音楽や保健、コミュニケーション英語の授業での成果を発表しました。保護者の方も、20名程の参加をいただきました。

準備までの時間が少なかったものの、生徒達は英語の歌を歌ったり演奏したり、これまでの学校生活を振り返り楽しい発表会となりました。その後、放課後には学級懇談を実施し、担任と保護者の中で連携を深めることができました。



——— ホームページでも学校生活を紹介しています! ———

行事をはじめ、日々の生活や配付物(通信等)を日々公開・更新しております⇒ <http://www.datemidorigaoka.hokkaido-c.ed.jp>